

確認表

別紙4

受付番号	受付日	申請者氏名

書類	確認部分	確認項目	チェック
申請書 (様式1)	申請者	記載漏れ、記入誤りがない。	☐
		高校生本人の名前が自署されている。	☐
		在学校の入学・編入時年齢が17歳以下である。	☐
		氏名、生年月日、住所と住民票の内容に相違がない。	☐
	保護者	記載漏れ、記入誤りがない。	☐
		保護者の名前が自署されている。	☐
		住所が岡山市内である。	☐
		氏名、生年月日、住所と住民票の内容に相違がない。	☐
	1. 【在学する学校について】	記載漏れ、記入誤りがない。	☐
		学校名、入学年月日、学校区分、学校種別、課程に在学証明書兼推薦書の内容との相違がない。	☐
		学校は対象となる学校である。(特別支援学校等でない)	☐
		学年が対象となる学年である。(高等専門学校4～5年生等でない)	☐
	2. 【支払いを希望する口座について】	記載漏れ、記入誤りがない。	☐
		口座名義人が申請者又は上記の保護者の氏名が記入されている。	☐
		通帳の写しが添付されている。	☐
		通帳の写しと記載内容に齟齬がない。	☐
住民票		世帯全員が記載された謄本である。(申請書に記載の内容と相違がない)	☐
		続柄が記載されている。	☐
		保護者が7月1日時点で岡山市民である(転入日の確認)	☐
		基準日以降に発行されたものである。	☐
課税証明書		保護者等全員の課税証明がある。	☐
		令和7年度の課税証明書である⇒前年度のものならば再提出	☐
		「課税資料なし」の記載がない⇒記載があったら申告し再提出	☐
		未成年後見人の場合は申請者の戸籍が必要 他の主たる生計者がいる場合はその人の課税証明	☐ ☐
住民票・課税証明書		原本が添付されている。⇒きょうだいで申請する場合は2人目以降コピー可。同じ封書で送られてきて連番になる場合はコピーがなくても受理し、「証明書は●番の●●に添付」と記載してください。	☐
在学証明書兼推薦書(様式2)		基準日以後に発行されたものである。	☐
		基準日時点で在学していることが確認できる。(1の入学日と合わせ)	☐
		学校の署名または記名・押印されている。	☐
		在学証明書は指定様式である。⇒指定様式でない場合でも上記の確認ができれば再提出はもとめない運用とします。	☐
扶養状況等報告書		保護者等が報告者となっているか。	☐
		保護者等が全員記載されているか(住民票と突合)	☐
		家計急変の場合は2の記載も必要な場合あり。	☐

家計急変は以下をチェック

申請書		当初募集で支給決定をしていない	☐
家計急変申告書 (様式3号)	岡山県教育給付金決定通知書 (家計急変世帯)が添付してある ☐ ※添付の場合、右の①の書類は不要	記載漏れ、記入誤りがない。	☐
		家計急変が生じた世帯員が住民票に記載されている	☐
		家計急変事由を証明する書類が添付されている	☐
		①家計急変前、家計急変後の収入を証明する書類が添付されている→年間の収入を別添計算書で掲載し非課税世帯相当と認められる場合は給付となります。	☐

2025年度 学年対照表		
生年月日	令和7年4月1日時点年齢、入学年(留年考慮無し)	学年
2009(平成21)年4月2日～2010(平成22)年4月1日	15歳、令和7年	1
2008(平成20)年4月2日～2009(平成21)年4月1日	16歳、令和6年	2
2007(平成19)年4月2日～2008(平成20)年4月2日	17歳、令和5年	3
2006(平成18)年4月2日～2007(平成19)年4月2日	18歳、令和4年	4
2005(平成17)年4月2日～2006(平成18)年4月2日	19歳、令和3年	5

不備対応記録			
月日	不備事項・連絡方法	内容	済

審査結果 (いずれかに○)	給付	給付額 60,000円	☐
		給付額 37,000円	☐
	不給付 →理由	保護者等全員が市民税所得割額が0円でない。	☐
		保護者が基準日現在岡山市民でない。	☐
		対象となる学校、学年でない。	☐
		生活保護受給世帯である。	☐
		児童養護施設等に入所し特別育成費が支弁されているため	☐
		家計急変事由に該当しない	☐
		家計急変事由にあたるが、今年の年収(見込)が所得割非課税相当と認められない	☐
		書類不備のため	☐
		その他(	☐

備考
